

相手の立場に立って、ものごとを考える。

現代社会のあらゆる場面で求められる

コミュニケーション能力を磨いています。

永嶋 星香 さん

4年 千葉県 県立幕張総合高等学校出身

中学の頃から「周りの人と仲良くするには?」「部活でチームワークを発揮するには何が必要なんだろう?」と、人と人との交流について漠然と考えていました。社会で「コミュニケーション能力」が重要視される時代にあり、あらゆるシーンで活かせるスキルを身に付けたいと思い、コミュニケーション文化学科を選びました。

現在は、ゼミで英語と日本語の第二言語習得について学んでおり、私たちが母語ではない言語をどのように習得していくのかを研究しています。また、シンボルやピクトグラムなどの非言語にも興味があり、それらに関する授業も受講しています。

根本に「誰かのためになりたい」という思いがあり、卒業後は大学で学んだことを活かして、ホスピタリティが求められる職に就きたいと考えています。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限	世代別 コミュニケーション論	コミュニケーション 文化学演習IB				
2限	起業論				シンボル 表現論	
3限	総合科目 (生活と環境)			総合科目 (観光)	実践日本語 (発声法)	
4限	ファッション論	実践英語 (映画英語)		実践日本語 (敬語)	視覚 コミュニケーション論	
5限				キャンピングアテンド (CA)実習	コミュニケーション 文化学特殊講義 (日本語 コミュニケーション)	

※このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づくものです。

Course model

履修モデル

幅広い将来の進路に合わせて、3つの履修モデルを設定しています。

英語力を高め グローバルに活躍したい

英語コミュニケーション 分野 【履修科目例】

- 英語コミュニケーション論
- World Englishes(世界の諸英語)
- 英語表現基礎
- キャリア英語
- 英語表現(通訳)
- 英語表現(翻訳)

Student's Voice

【英語コミュニケーションスキル(会話)】を履修。1年次に受講したこの授業で、プレゼンテーションを数多く行い、人前で話すことに緊張を感じなくなりました。英語の発音も上達し、自分から積極的に発言できるようになりました。

*新カリキュラムでは、科目名を【英語表現基礎(プレゼンテーション)】に変更します。

あらゆるシーンで活躍できる 日本語のプロになりたい

日本語コミュニケーション 分野 【履修科目例】

- 日本語コミュニケーション論
- メディアコミュニケーション論
- 日本語表現基礎
- キャリア日本語
- 職業別アナウンス
- 点字

Student's Voice

【アナウンス】を履修。アナウンスと聞くとアナウンサーを想像されるかもしれませんが、この授業では司会者や客室乗務員、接客業などにも必要な音声表現能力を、実践的に習得することができます。

*新カリキュラムでは、科目名を【職業別アナウンス】に変更します。

相手の文化や背景を理解し 多文化共生社会で活かしたい

異文化コミュニケーション 分野 【履修科目例】

- 多文化社会論
- 国際コミュニケーション論
- 異文化コミュニケーション論
- 異文化研究(アジア)
- 異文化研究(欧米)
- 非言語コミュニケーション論

Student's Voice

【多文化社会論】コリアンタウンとしての新大久保は30年にも満たないことや、出稼ぎとして外国人が歌舞伎町で働いていたことに驚きました。新大久保はコリアンタウンとして有名ですが、裏をのぞけば韓国人以外にもさまざまな国の方が商売をし、暮らしていることを知りました。